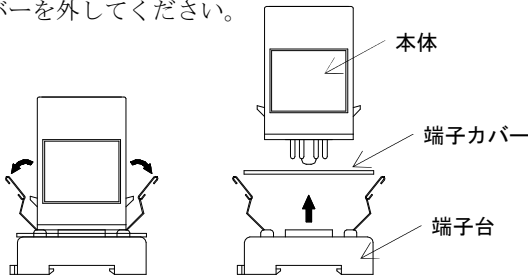


この度はサージカウンタをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用に際しては、本書をよく読んでお取り扱いくださいますようお願い致します。

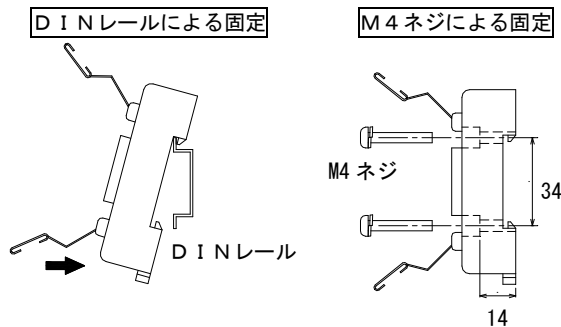
### 1. 接 続

#### (1) 端子台取付け

- ①カウンタ本体の両サイドの固定部分  
をはずし、端子台から本体と端子カ  
バーを外してください。

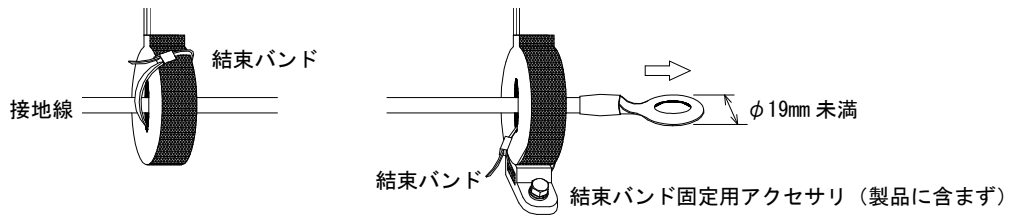


- ②端子台を DIN レールまたは、M4 ネジで固定  
してください。



#### (2) CT 部取付け

- ①サージ電流を測定する接地線をできるだけ直線状にし、CT に貫通させてください。(極性はありません)  
②CT は結束バンド等で固定してください。盤に固定する場合は結束バンド固定用アクセサリ等を使用してく  
ださい。(結束バンドや結束バンド固定用のアクセサリは製品に付属していません)  
③接地線の圧着端子幅が 19mm 未満であれば、圧着端子を外すことなく、CT に通すことができます。



#### (3) 配 線

##### ⚠ 配線時の注意

- ・配線は必ず電源の供給が停止している状態で行ってください。
- ・電源線は 0.5~1.25mm<sup>2</sup> を使用し、端子台接続部には絶縁キャップもしくは絶縁被覆付圧着端子を使用してください。
- ・CT や接点端子のリード線は電源線など他の配線と束ねて配線せず、できる限り開閉サージやノイズなどの誘導を受けないように隔離して配線してください。
- ・CT のリード線 (200mm) はノイズ防止対策として約 1cm に 1 回程度ねじってください。
- ・CT のリード線 (200mm) はノイズ防止対策として延長しないようにしてください。  
(延長した場合、誤動作する場合があります)

- ①右図を参考に「電源」、「CT」、「接点」、「ショートバー」の配線を行ってください。

- ②端子ネジは M3.5 で推奨締め付けトルクは 0.8~1.3N・m です。

- ③動作感度電流の設定はショートバーで行います。

10A : ショートバーなし

50A : ショートバー⑥-⑤-④ (出荷時の設定)

100A : ショートバー⑤-④-③

- ④接点仕様 (a 接点)

カウント上昇時に接点端子が「閉」(500ms) になります。

(接点容量 : DC30V 1A、AC125V 0.5A)

- ⑤配線が完了したら端子カバーと本体を端子台に差し込み、カウンタ部両サイドの固定部をはめ込んでください。

